

# ウィークリー・アウトLOOK

## FRB の利下げ観測、株価の動向

※ウィークリー・アウトLOOK次号は8月13日(火)に配信する予定です。

### 【今週のポイント】

- ・米FRBの利下げ観測が一段と強まるか
- ・主要国の株価下落が続くかどうか
- ・メキシコ中銀は利下げするか否か

先週(7/29-)は、円の全面高となりました。日銀が7月30-31日の金融政策決定会合で利上げすることを決定し、植田総裁が会合後の会見で追加利上げに前向きな姿勢を示したためと考えられます。今週8日に「日銀金融政策決定会合における主な意見(7月30-31日開催分)」が公表されます。主な意見が日銀の追加利上げ観測を強める内容になれば、円高圧力が加わりやすい地合いが続く可能性があります。

米国の7月雇用統計が市場予想よりも弱い結果だったことで、市場ではFRB(米連邦準備制度理事会)の利下げ観測が強まりました。CMEのFedWatchツールによると、本稿執筆時点で市場は次回9月17-18日のFOMC(米連邦公開市場委員会)での0.25%の利下げを完全に織り込んでおり、より大幅な0.50%の利下げが行われる確率も70%程度織り込んでいます。

5日のISM非製造業景況指数(7月分)や8日の新規失業保険申請件数(先週分)など米経済指標が市場のFRBの利下げ観測を一段と強める結果になれば、米ドルが軟調に推移しそうです。

### 今週の主要経済指標・イベント

		当社予想	市場予想	前回値
8月5日	【カナダ】祝日(市民の日)			
	16:00 【トルコ】CPI 前年比(7月)	61.50%	62.10%	71.60%
	23:00 【米】ISM非製造業景況指数(7月)	51.0	50.5	48.8
8月6日	13:30 【豪】RBA政策金利	4.35%	4.35%	4.35%
	14:30 【豪】ブロックRBA総裁の記者会見			
8月7日	7:45 【NZ】失業率(4-6月期)	4.7%	4.7%	4.3%
8月8日	8:50 【日】金融政策決定会合の「主な意見」(7月30-31日開催分)			
	21:00 【メキシコ】CPI 前年比(7月)	5.50%	5.55%	4.98%
	28:00 【メキシコ】BOM政策金利	10.75%	10.75%	11.00%
8月9日	【南アフリカ】祝日(女性の日)			
	21:30 【カナダ】雇用者数 前月比(7月)	2.30万人	2.50万人	-0.14万人
	【カナダ】失業率(7月)	6.6%	6.5%	6.4%

市場予想はリフィニティブ、8月5日9:00現在。発表日時は日本時間。

---

日本や米国など主要国の株価動向にも注目です。米景気減速への懸念から、足もとで主要国の株価には下押し圧力が加わっています。株価がさらに下落する場合、リスクオフ(リスク回避)の動きが一段と強まるとともに、円高要因になるかもしれません。

5-6日にRBA(豪中銀)の、8日にBOM(メキシコ中銀)の政策会合が開かれます。各中銀の会合結果に豪ドルとメキシコペソが反応する可能性があります。

市場ではRBAは政策金利を据え置くとの見方が大勢。BOMに関しては、0.25%利下げするとの見方が有力です。BOMが利下げを行えば、メキシコペソの上値を抑える要因になりそうです。〈八代〉

### 今週の注目通貨ペア①: <米ドル/円 予想レンジ:140.000円~150.000円>

植田日銀総裁が追加利上げに前向きな姿勢を示しました。一方で、パウエルFRB議長は7月30-31日のFOMC(米連邦公開市場委員会)後の会見で、「早ければ次回9月(17-18日)のFOMCで利下げする可能性はある」と述べました。

日銀とFRBの金融政策の方向性の差が市場で引き続き意識されて、米ドル/円には下落圧力が加わりやすいかもしれません。主要国株価の下落が続く場合、リスクオフの動きが強まるとともに、米ドル/円への下落圧力は一段と強まる可能性があります。〈八代〉

### 今週の注目通貨ペア②: <豪ドル/NZドル 予想レンジ:1.07000NZドル~1.11000NZドル>

RBA(豪中銀)は5-6日に政策会合を開きます(会合の結果は6日に発表)。その結果に豪ドル/NZドルが反応しそうです。

豪州の4-6月期CPI(消費者物価指数)は、総合指数が前年比3.8%、トリム平均値が同3.9%と、RBAのインフレ目標である2~3%を引き続き上回りました。政策金利は4.35%に据え置かれそうです。

政策金利が据え置かれれば、RBAの声明や会合後に行われるブロック総裁の会見が材料になりそうです。前回6月会合時の声明では、先行きの金融政策について「何も決定しておらず、何も排除していない」と改めて表明されました。ブロック総裁は会合後の会見で、「インフレリスクを警戒する必要がある」と述べ、会合では利上げの選択肢も議論されたことを明らかにしました(利下げは検討されず)。

今回の会合における注目点は、こうしたRBAのタカ派的な姿勢が弱まるかどうかになりそうです。タカ派的な姿勢が弱まったと市場が受け止めれば、豪ドルが軟調に推移して、豪ドル/NZドルには下押し圧力が加わる可能性があります。

7日にはNZの4-6月期の雇用統計が発表されます。それが市場予想からかい離する結果になれば、NZの雇用統計も材料になるかもしれません。〈八代〉

## 今週の注目通貨ペア③: <米ドル/カナダドル 予想レンジ: 1.37500 カナダドル~1.39500 カナダドル>

BOC(カナダ中銀)は7月24日の政策会合で0.25%利下げすることを決定。政策金利を4.75%から4.50%へと引き下げました。マックレム BOC 総裁は会合後の会見で「インフレ率がおおむね(BOCの)想定通りに鈍化し続ければ、政策金利のさらなる引き下げを予想するのが妥当だ」と述べ、追加利下げの可能性に言及しました。BOCは次回9月4日の会合で追加利下げを行うと市場は予想しており、こうした利下げ観測はカナダドルにとってマイナスです。

ただし、FRB(米連邦準備制度理事会)は次回9月17-18日のFOMCで利下げすると市場は予想しています。市場のFRBとBOCの金融政策見通しからみれば、米ドル/カナダドルは目先方向感が出にくいと考えられます。<八代>

### <執筆者>

#### 執筆者プロフィール

#### 八代 和也 (やしろ かずや)

シニアアナリスト



2001年ひまわり証券入社後、為替関連の市況ニュースの配信、レポートの執筆などFX業務に携わる。2011年、マネースクウェア・ジャパン(現マネースクエア)に入社。豪ドル、NZドル、カナダドル、トルコリラ、南アフリカランド、メキシコペソを中心に分析し、レポート執筆のほか、M2TV出演、セミナー講師を務めている。

【プロフィール】 広島県出身。

【趣味】 野球・サッカー観戦。

【一言】 より分かりやすくタイムリーなレポートを心掛けています。

※当レポートは、情報提供を目的としたものであり、特定の商品の推奨あるいは特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。

※当レポートに記載する相場見通しや売買戦略は、ファンダメンタル分析やテクニカル分析などを用いた執筆者個人の判断に基づくものであり、予告なく変更になる場合があります。また、相場の行方を保証するものではありません。お取引はご自身で判断いただきますようお願いいたします。

※当レポートのデータ情報等は信頼できるとされる各種情報源から入手したのですが、当社はその正確性・安全性等を保証するものではありません。

※相場の状況により、当社のレートとレポート内のレートが異なる場合があります。

---

## 当社サービスに関する注意事項

・取引開始にあたっては契約締結前書面をよくお読みになり、リスク・取引等の内容をご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願いいたします。

・当社の店頭外国為替証拠金取引、店頭 CFD 取引および取引所株価指数証拠金取引は、元本および収益が保証されているものではありません。また、取引総代金に比較して少額の資金で取引を行うため、取引の対象となる金融商品の価格変動により、多額の利益となることもあります。お客様が差し入れた証拠金を上回る損失が生じるおそれもあります。また、各金融市場の閉鎖等、不可抗力と認められる事由により店頭外国為替証拠金取引、店頭 CFD 取引および取引所株価指数証拠金取引が不能となるおそれがあります。

・店頭外国為替証拠金取引、店頭 CFD 取引における取引手数料は無料です。

・取引所株価指数証拠金取引における委託手数料は注文が成立した日の取引終了後の値洗い処理終了時に証拠金預託額より、新規および決済取引のそれぞれに徴収いたします。手数料額は、通常 1 枚あたり片道 303 円(税込)、NY ダウリセット付証拠金取引および NASDAQ100 リセット付証拠金取引は 1 枚あたり片道 33 円(税込)です(ただし、建玉整理における委託手数料は無料です)。

・当社が提示するレートには、買値と売値に差(スプレッド)があります。流動性が低くなる場合や、天変地異または戦争等による相場の急激な変動が生じた場合、スプレッドが広がる場合があります。

・店頭外国為替証拠金取引に必要な証拠金額は、個人のお客様の場合、取引総代金の 4%以上です。法人のお客様の場合、取引総代金に、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの証拠金率(為替リスク想定比率)を基に当社が算出した証拠金率を乗じた金額となります。為替リスク想定比率は、金融商品取引業等に関する内閣府令第 117 条第 27 項第 1 号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。なお、証拠金率(為替リスク想定比率)は変動いたします。店頭 CFD 取引に必要な証拠金額は、取引総代金の 10%です。取引所株価指数証拠金取引に必要な証拠金額は、商品ごとに当社が定める 1 枚あたりの必要証拠金の額に建玉数量を乗じる一律方式により計算されますが、1 枚あたりの必要証拠金額は変動いたします。

---

金融商品取引業 関東財務局長(金商)第 2797 号

【加入協会】日本証券業協会 一般社団法人 金融先物取引業協会  
株式会社マネースクエア

---